

## 好評開催中！ 加賀家文書館 第7回特別展 「近世の別海をさぐるⅡ」

近世（江戸時代）シリーズの第2弾、海岸線を中心に「加賀家文書」や同年代に残された文献史料により、わかりやすくご紹介します。ぜひ、ご覧ください。

- 期間 10月30日（金）まで
- 観覧料 常設展示（大人300円）で観覧できます。



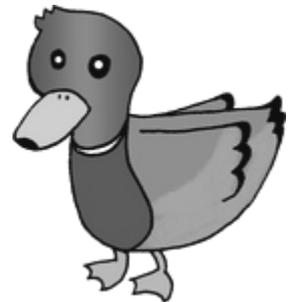
## ふるさと講座・自然系第3回目

### 「秋の渡り鳥観察会」のお知らせ！

カモ類を中心とした水鳥やワシ・タカなどの猛禽（もうきん）類、そして、めったに見ることが出来ないユキホオジロなどの観察会を実施します。

「あっと驚く！」珍鳥も見られるかも？ みなさんのご参加お待ちしております。

- 日時 11月21日（土）午前9時～12時
- 場所 風蓮湖（走古丹方面）（集合場所－郷土資料館）  
移動は車を用意しますが、自家用車での移動も可能です。
- 講師 上西春別中学校 教諭 藤井 薫氏
- 定員 15名（11月20日（金）までにご連絡ください。）



## 飛び出せ郷土資料館 出前移動展を開催中。



10月1日（木）～11月4日（水）にかけて、厚岸町海事記念館にて「江戸時代のノツケを探る～野付通行屋跡遺跡発掘調査から～」の出前移動展を実施しています。

近世の厚岸は東蝦夷地における中心的な役割を果たし、場所の開設や蝦夷三官寺のひとつ国泰寺（文化元年-1804）が幕府により設置されました。野付通行屋との関りも非常に強く、同年代の文化財が残る両町の交流展示ということで、平成19年度に加賀文書館で実施した特別展をもとにした出前移動展が実現しました。

郷土資料館では、過去に実施した特別展や資料の貸出しなどを学校・各種団体の要望に応じて実施しています。詳しくは郷土資料館までご連絡ください。

# 近世の別海を探る 「ベツカイ」～その2～

## ○幕府直轄時代 寛政11年(1799)～文政3年(1820)

幕府は、ロシアの蝦夷地接近や上陸に対して、東蝦夷地さらに西蝦夷地を直轄しました。

幕府は蝦夷地直轄の政策として、陸路・海路の整備、アイヌ民族の撫育などに重点を置きました。場所経営も幕府の直掬としましたが、経費負担を避ける方針をとり、再び場所請負制としました。

根室・国後・捉拵に会所を置き、交通の要路、姉別(浜中町)・野付に通行屋を設けました。

北辺防衛の対応として、南部藩に、根室・国後・拵拵、津軽藩に、拵拵を警備するよう命じました。

幕府の役人などの往来は多くなり、記録も増し、この地方の様子も次第に明らかになってきます。

「ベツカイ」に関しては、同年代に書かれた地図上では見られるが、その様子が書かれた文献史料は「ニシベツ」に比べて少ない。ただし、根室場所の十ヶ所ある番屋の一つ、または、アイヌの集落があるとの記述がはじめて出てきます。

### ・「一 番屋拾ヶ所、板蔵、萱 荷物蔵等もあり。」「一 蝦夷人住居の地名」

『東蝦夷地各場所様子大概書』松前藩 文化5年(1808)

### ・「番屋名・子モロ夷人住居地名・漁業場所」「御上り鮭出る数 百四十本」

『東行漫筆』荒井保恵 文化6年(1809)



## ○松前藩復領時代 文政4年(1821)～安政元年(1854)

蝦夷地も次第に落ち着きを取り戻し、再び松前藩の手に戻りました。

根室・国後・拵拵に勤番所を置き、勤番士を配置し、雇人の監督、荷物の検査、軽物の買入、献上品仕立方などの監督や取締りにあたりました。

また、場所請負人に特権的な地位を与え、その経済力に依存する体制を強めました。その結果、場所請負制のもとに略奪的な経営が行われ、アイヌ民族社会は酷使や虐待、流行病によって壊滅的な打撃を受けました。

松浦武二郎による蝦夷地の詳細な記録が登場し、「ベツカイ」の様子はさらに詳しく記述されるようになります。地勢や建物、アイヌの人数が記述され、献上鮭製造のための施設が「ベツカイ」にも登場してきます。

### ・「東蝦夷地場所之蝦夷人居所之分」

松前嶋郷帳(天保郷帳) 松前藩 天保5年(1834)

『鱧形図拾巻品・鮭形図四品』より、「ニシベツ献上鮭」部分 加賀家文書

### ・「ヘツカイ 砂濱、鱧鮭漁場、此所鮭第一上品之由、御上り調造蔵一棟有之、漁小屋一軒、晝(昼)休、蔵十、稻荷小社一字、夷家十六軒、人数七十二人、川有巾四十間、渡船、此川を隔、ニシベツ」『村垣淡路守公務日記』安政元年(1853)

別海町郷土資料館だより No.123

発行日 平成21年10月8日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

10月に入りすっかり秋空となりました。天候も良く空気が澄んでいて気持ちの良い日が続きますが、今年は室内中心の活動で、たまには太陽の光を浴びたいとなります。さて、初の試みとして厚岸町での移動展を実施しています。色々な意味でもっともっと町内外に飛び出して行きたいものです (K.I)